

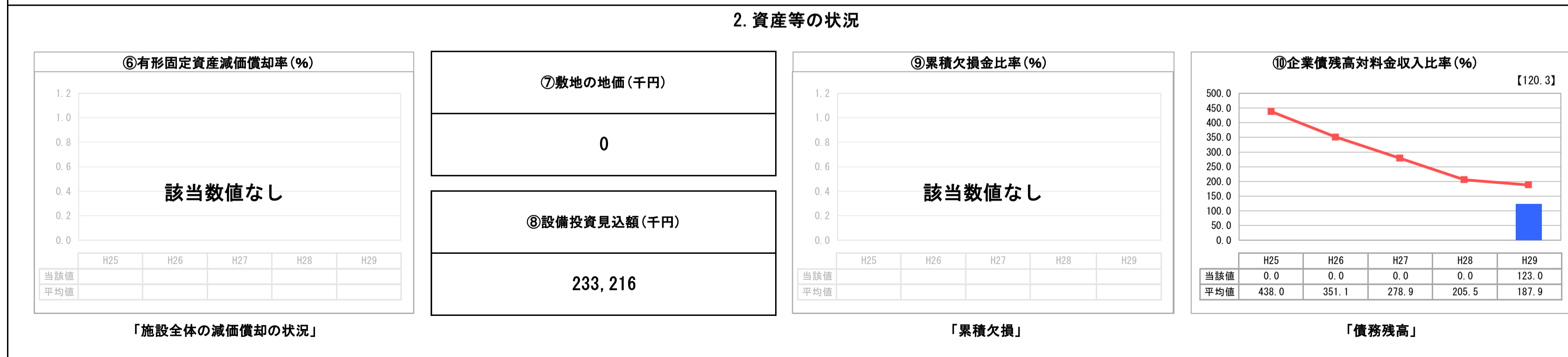
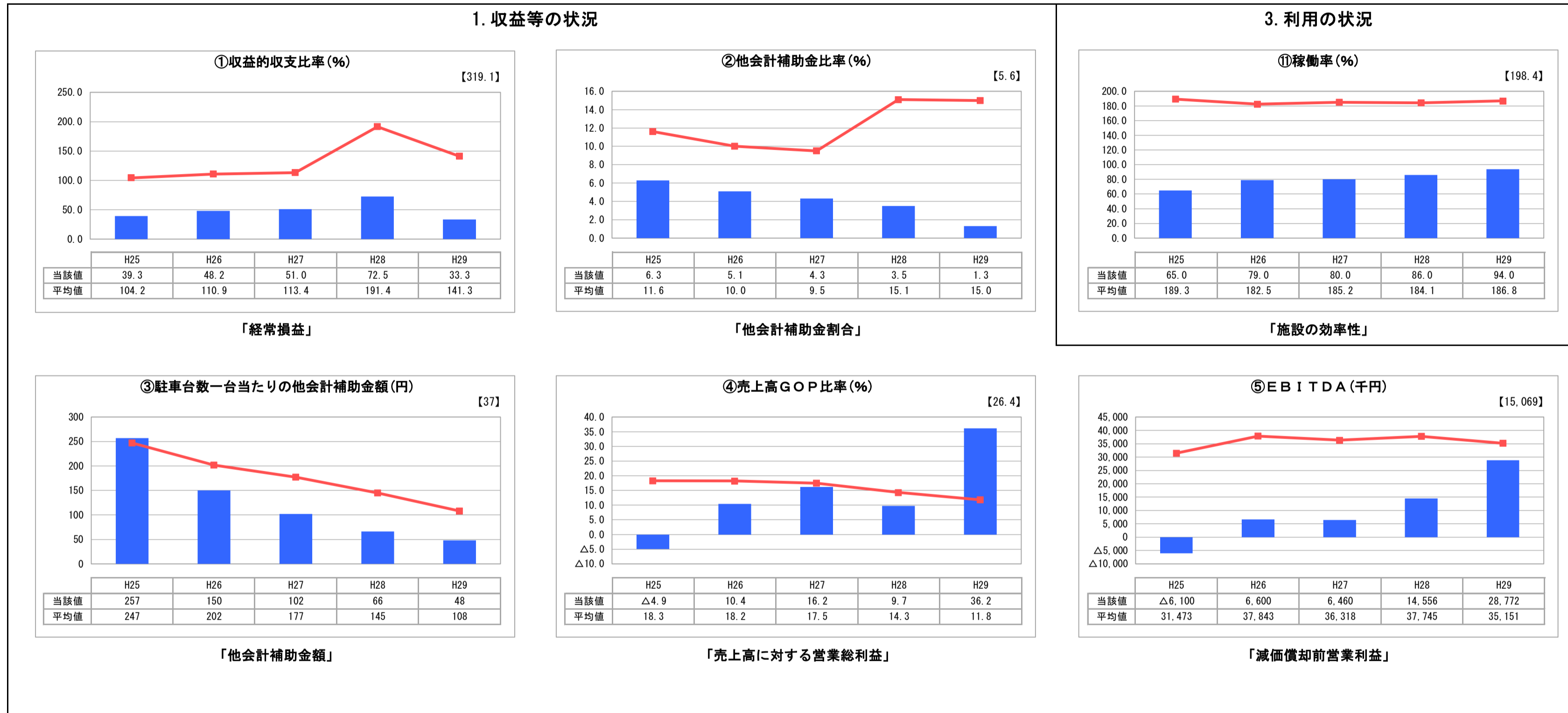
経営比較分析表（平成29年度決算）

神奈川県横浜市 馬車道地下駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	地下式	19	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	10,078
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
200	400	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率
 単年度赤字の状態であるので、経営改善に向けた取組が必要だと考えている。そこで、指定管理者制度など、より効率的な運営方式に見直していく。
 ②他会計補助金比率及び③駐車台数一台当たりの他会計補助金額
 経年比較においては、減少傾向にある。これは、地方債の償還が進み残高が減少していることから、一般会計からの繰入金が増加しているためと思われる。
 ④売上高GOP比率及び⑤EBITDA
 数値は低く望ましい状態ではない。経営改善を図るため、指定管理者制度など、より効率的な運営方式に見直していく。

2. 資産等の状況について
 ⑥有形固定資産減価償却率及び⑨累積欠損金比率
 法非適用企業のため対象外
 ⑦敷地の地価
 道路の地下に設置した駐車場であり、用地は購入していないため価格は「0」である。
 ⑧設備投資見込額
 当初の設備投資額に比べて、大きな金額ではないが、将来の事業継続の見込みも含めて慎重に見直していく。
 ⑩企業債残高対料金収入比率
 数値は高く望ましい状態ではない。企業債は減少しているため、料金収入の増加が見込めるより効率的な運営方式に見直していく。

3. 利用の状況について
 ⑪稼働率
 数値は、やや増加傾向であるが、あまり高くない。指定管理者制度など、より効率的な運営方式に見直していく。

全体総括
 経営改善の取組が必要な状態であるため、指定管理者制度など、より効率的な運営方式に見直していく。
 さらに、今後の設備投資に当たっては、将来の事業継続の見込みも含めて慎重に検討していく。